

Kenko

ケンコー デジタルカメラ

KC-AF11

取扱説明書



このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。

早見表

セット内容  ▶ 11	各部の名称  ▶ 12	モードの切替  ▶ 15	充電電池の 取り付け  ▶ 16	充電電池の充電  ▶ 17
電源の オン/オフ  ▶ 20	microSD メモリーカード を使用する  ▶ 21	microSD メモリーカード を取り付ける  ▶ 24		
microSD メモリーカード のフォーマット  Format ▶ 26	日時の設定  ▶ 28	静止画の撮影  ▶ 32	ズーム撮影  ▶ 33	
内蔵 LED ライト  ▶ 34	セルフタイマー  ▶ 35	画像サイズ  ▶ 38	手振れ軽減  ▶ 39	顔検出  ▶ 40

早見表

スマイルショット  ▶41	露出  ▶42	ISO 感度 [ISO] [AUTO] ▶43	ホワイト バランス  ▶44	効果  ▶45
動画の撮影  ▶52	ビデオサイズ [FHD] ▶55	ファイルの 再生  ▶57	動画ファイル の再生  ▶63	パソコンとの 接続  ▶65
PC Camera  ▶68	故障かなと 思ったら  ▶69	記録可能枚数 / 時間の目安  ▶71	仕様 SPEC ▶73	



目次

はじめに	07	日時の設定	28
安全上のご注意	08	言語の設定	30
カメラの紹介	11	静止画モード	31
セット内容	11	静止画撮影モードの液晶モニター表示	31
各部の名称	12	静止画の撮影	32
ボタンの機能	13	ズーム撮影	33
LEDインジケーター表示	15	内蔵LEDライトの設定	34
モードの切替	15	セルフタイマー	35
ご使用の前に	16	連写モード	36
充電電池の取り付け	16	静止画撮影メニュー	37
充電電池の充電	17	画像サイズ	38
リチウムイオン充電電池に関する安全上のご注意	19	手ぶれ軽減	39
電源のオン/オフ	20	顔検出	40
ストラップの取り付け	20	スマイルショット	41
microSDHC/SDXCメモリーカードを使用する	21	露出	42
microSDメモリーカードを使用する前に	22	ISO感度	43
ファイル名/ディレクトリ名を変更しない	23	ホワイトバランス	44
microSDメモリーカードを取り付ける	24	効果	45
microSDメモリーカードのフォーマット	26	測光モード	46
		省電力	47
		フリッカー低減	48



目次

操作音	49	再生モード	57
フォーマット	50	ファイルの再生	57
リセット	50	静止画再生モードの液晶モニター表示	58
動画モード	51	再生ズーム	59
動画撮影モードの液晶モニター表示	51	サムネイル表示	60
動画の撮影	52	クイック消去	61
ズーム撮影	53	動画再生モードの液晶モニター表示	62
内蔵LEDライト撮影	53	動画ファイルの再生	63
動画撮影メニュー	54	クイック消去	63
ビデオサイズ	55	消去	64
露出	56	パソコンとの接続	65
ホワイトバランス	56	パソコンとの接続	65
効果	56	モード設定	65
省電力	56	MSDC	66
フリッカー低減	56	データの保存	66
操作音	56	転送時のご注意	67
フォーマット	56	ファイル名について	67
リセット	56	PC Camera	68



目次

故障かな?と思ったら 69

記録可能枚数/時間の目安 71

静止画	71
動画	72

仕様 73

仕様	73
必要なパソコン動作環境	75

保証規定 76



はじめに ご使用前にお読みください。

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書と保証規定をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、お読みになった後はいつでも見られる所に大切に保管してください。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方が書かれています。
本書をよくお読みの上、製品を正しく安全にお使いください。
本製品をご使用中に生じたいかなる二次的損害についても補償いたしかねます。

- 結婚式や旅行など大切な撮影の前には必ず事前にテスト撮影を行ってください。
- 本製品の使用および故障により生じた画像データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 著作権や肖像権などにお気をつけください。撮影を制限されている場所もありますのでお気をつけください。また、プライバシーを侵害するような撮影は行わないでください。
- カメラを長時間使用するとカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。
- 液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高精度な技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯があります。液晶パネルメーカーの保証値となります。また記録される画像には影響されません。
- 本取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 本取扱説明書の図、写真の画面などは説明のために作成したものです。あらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複製することは、個人で楽しめる場合を除き禁止されています。
- 製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。
- 本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。



⚠️ 安全上のご注意 必ずお読みください。

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。
本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

 危険	<p>この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。</p>
 警告	<p>この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。</p>
 注意	<p>この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性、または物的損害が生じる可能性が想定される内容です。 ※物的損害とは、家屋・家財に関わる拡大損害を示します。</p>

 図例	 ○記号は禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は○の中や近くに文章や絵で示します。
	 ❶記号は強制(必ずやること)を示します。 具体的な強制内容は、❶の中や近くに文章や絵で示します。左図は一般的な強制を示します。

⚠️ 危険

	<p>可燃ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの加工および、火中投下などを行わないでください。発熱、発火、破裂の危険があります。 本製品を高温の場所（真夏の車内、暖房器具のそばなど）で使用、保管しないでください。</p>
--	--



安全上のご注意 必ずお読みください。

警告



- 目に深刻な損害を与える恐れがありますので、至近距離で内蔵 LED ライトを発光させないでください。
- 本製品を歩行中、または運転中に絶対に使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。
- 本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。
- 感電の恐れがありますので、濡れた手で本製品を触らないでください。
- 本製品の分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。
- 本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。事故の原因になります。
- ケーブルやストラップが首に巻き付くと窒息の危険があります。お子様の手の届かないところに保管してください。
- ポリ袋（包装用）などを小さなお子様の手が届くところに置かないでください。口にあてて窒息の原因になることがあります。



- 小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手が届く範囲に本製品を放置しないでください。
- 本製品に何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。



安全上のご注意 必ずお読みください。

注意



- 本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 火の近く
 - 湿ったところ
 - 振動の激しい場所
 - 温度・湿度の変化が激しい場所
 - 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば。
- 車内は、温度変化が激しく高温あるいは低温になり振動もありますので使用および保管は避けてください。
- 本製品を落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。
- ケーブルやストラップ等を持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。
- 平らで安定した場所に設置してください。不安定な場所に置くと転倒、故障、事故の恐れがあります。
- 故障防止のために、以下のことは避けてください。
 - 強い衝撃や落下
 - 風呂場などの湿気の多いところや、倉庫などほこりの多いところでの使用
- レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。集光により内部の部品が破損し、火災などの原因となります。
- 電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因となります。
- 本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因となります。
- 本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。故障の原因となります。

その他のご注意

- 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するとき、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。
- 撮影条件、使用環境および電池により撮影枚数、撮影時間が減少する場合があります。
- 本製品のレンズや液晶モニターが汚れたとき、市販のクリーニングクロスで拭き取ってください。汚れたままですと、鮮明な写真を撮影することができません。



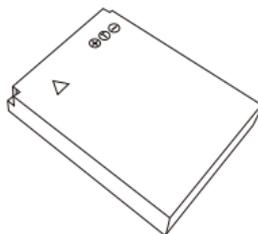
カメラの紹介

📺 セット内容

以下のセット内容が揃っているかご確認ください。万一、不足しているものがあれば、ご購入店またはケンコー・トキナーお客様相談室までお申し付けください。



カメラ本体



リチウムイオン充電電池



ストラップ



USBケーブル
(Type-A to Type-C)



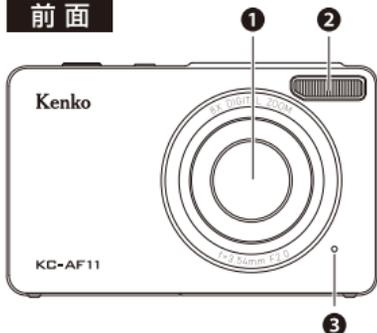
取扱説明書(本書)



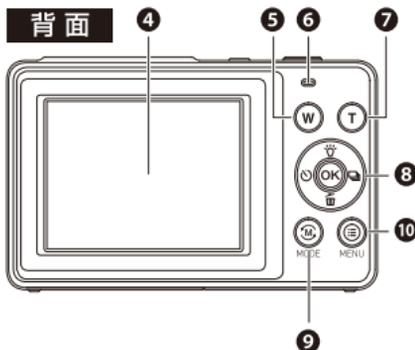
カメラの紹介

各部の名称

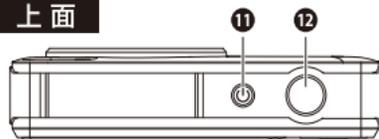
前面



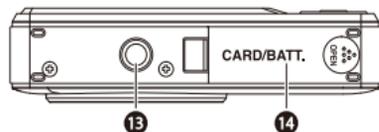
背面



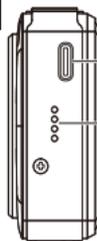
上面



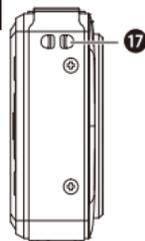
下面



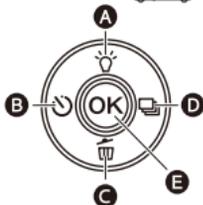
左側面



右側面



マルチ選択ボタン

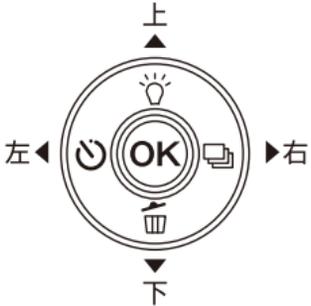


- ① レンズ
- ② 内蔵LEDライト
- ③ マイク
- ④ 液晶モニター
- ⑤ ズームボタン(W)
- ⑥ LEDインジケータ
- ⑦ ズームボタン(T)
- ⑧ マルチ選択ボタン
- ⑨ モードボタン
- ⑩ メニューボタン
- ⑪ 電源ボタン
- ⑫ シャッターボタン
- ⑬ 三脚取付穴
- ⑭ 電池/microSDHC
メモリーカード室カバー
- ⑮ USB Type-Cポート
- ⑯ スピーカー
- ⑰ ストラップホール
- A 上ボタン
- B 左ボタン
- C 下ボタン
- D 右ボタン
- E OKボタン



カメラの紹介

ボタンの機能

ボタン	名称	機能
	マルチ選択 ボタン	<p>上ボタン : 各項目・設定時に上へ移動します。 撮影時、内蔵LEDライトを点灯／消灯します。</p> <p>下ボタン : 各項目・設定時に下へ移動します。 再生時、ファイルのクイック消去の設定をします。</p> <p>左ボタン : 各項目・設定時に左へ移動します。 静止画撮影時、セルフタイマーの設定をします。 動画再生時、巻き戻しします。</p> <p>右ボタン : 各項目・設定時に右へ移動します。 静止画撮影時、1枚撮影／連写の設定をします。 動画再生時、早送り再生します。</p> <p>OKボタン : 設定モード時に項目を決定します。</p>
	電源ボタン	電源をオン／オフします。



カメラの紹介

ボタン	名称	機能
	シャッターボタン	押すと静止画／動画を撮影します。 動画再生モード時、押すと再生を開始します。 再度押すと再生を一時停止します。
	ズームボタン	静止画・動画撮影時にTボタンを押すとズームイン(拡大)、 Wボタンを押すとズームアウト(縮小)します。 動画再生時にTボタンを押すと音量が大きくなります。 Wボタンを押すと音量が小さくなります。 静止画再生時にTボタンを押すと拡大表示します。 Wボタンを押すと縮小し、最後は9分割サムネイル表示になります。
	モードボタン	モードを変更します。
	メニューボタン	各項目・設定を行います。



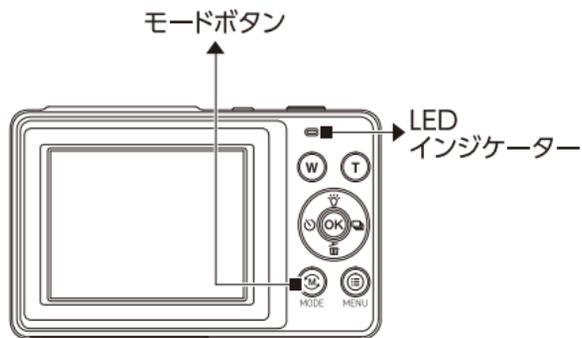
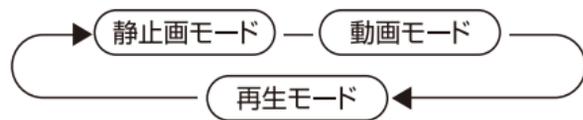
カメラの紹介

LEDインジケータ表示

表示灯	色	説明
LEDインジケータ	青色の点灯	起動時／電源オフ時に1度点灯します。
	青色の点滅	動画撮影中です。
	赤色の点灯	充電中です。

モードの切替

モードボタンを押すごとにモードが切り替わります。
静止画モード／動画モード／再生モードに
切り替わります。





ご使用前に

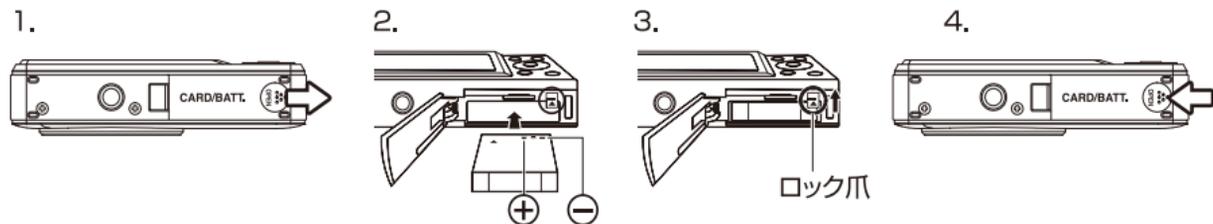
充電電池の取り付け

カメラに付属のリチウムイオン充電電池をセットします。

カメラに付属している充電電池以外は使用しないでください。

電池の取り付けは、ここに示す方法で行ってください。電池の取り付け方法が正しくないと、カメラが破損したり、火災の原因になることもあります。

1. カメラ底面の電池・microSDHCメモリーカード室カバーを ➡ の方向にスライドさせて開きます。
2. 図を参考に ⊕ ⊖ 方向を確認して、リチウムイオン充電電池をセットします。
3. 充電電池を取り外す場合は、ロック爪を上(液晶モニター側)へスライドすると充電電池が少し飛び出します。
4. 電池室蓋を閉じ、➡ の方向にスライドしてカチッと音がするまで閉じます。



- ◆ 電池をカメラ本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
- ◆ 電池は ⊕ ⊖ 方向に注意し、接点が右奥になるように正しくセットしてください。



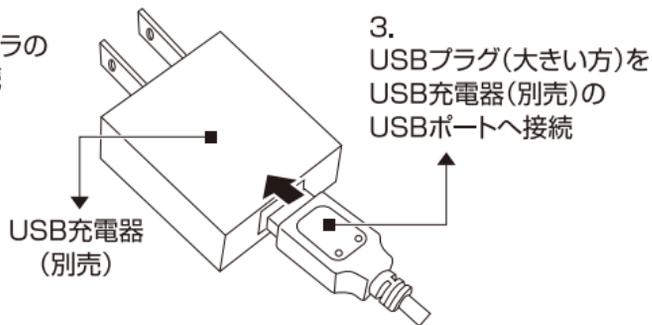
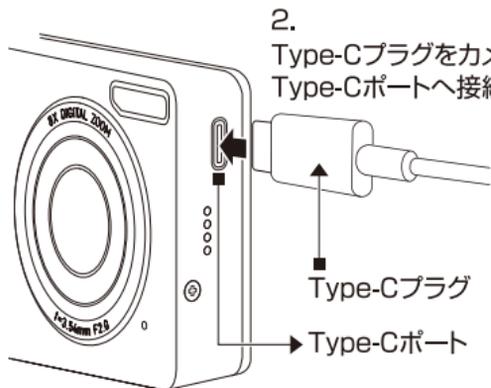
ご使用前に

充電電池の充電

充電電池の充電は、付属のUSBケーブルを使用して行います。
カメラに充電電池を取り付けます。P.16「充電電池の取り付け」をご覧ください。

1. カメラの電源をオフにします。
2. 付属のUSBケーブルのType-Cプラグ(小さい方)をカメラのType-Cポートに接続します。
3. もう一方のUSBプラグ(大きい方)を、
USB充電器(別売:Type-A出力、1ポートDC5V 2A以下)のUSBポートに接続します。
4. カメラの赤色LEDランプが点灯し、充電が行われます。充電が完了すると消灯します。

●次ページへ続く



※USBケーブルは付属のもの以外使用しないでください。
Type-C to Type-C ケーブルでは充電できません。



ご使用の前に

●前ページより続き



- 電池残量については、液晶画面上のバッテリーアイコンに表示されます。

  電池の残量は充分です。

 充電してください。

- 電池残量表示は目安になります。
- 電池をカメラの中に入れてそのまま長期間カメラを使用しないと、電池が消耗します。カメラを長期間(およそ1ヶ月以上)使用しないときは電池を取り出してください。
- 電池は気温0℃以下または40℃以上では正常に動作しない場合があります。カメラを長時間使用すると電池およびカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。
- ご購入時、電池は充電されておりませんので、はじめてご使用になる時はフル充電をしてからお使いください。



ご使用の前に

📷 リチウムイオン充電機に関する安全上の注意 (対象:リチウムイオン充電機使用カメラ)

⚠️ 警告 付属のリチウムイオン充電機をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

- ①初回使用時はフル充電してください。
- ②ショート、分解、加熱、充電(+)、(-)の逆方向のセットはしないでください。
- ③液漏れ等の異常が発見された場合、ただちに使用を中止してカメラから取り外し、お買い上げ先等にお申し出ください。
電解液が、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断・治療を受けてください。
- ④リチウムイオン充電機をカメラから取り出して保管・持ち運びの場合、安全のためビニール袋・プラスチックケース等に入れてください。
- ⑤リサイクルのお願い



Li-ion00

不要になった電池は貴重な資源を守るために廃棄しないで
充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

〈最寄りのリサイクル協力店へ〉

詳細は、社団法人 電池工業会ホームページをご参照ください。

・ホームページ <https://www.baj.or.jp/>

● 使用済み充電式電池の取扱注意事項

- － プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- － 皮覆をはがさないでください。
- － 分解しないでください。



ご使用前に

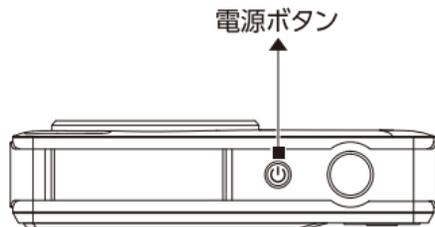
電源のオン／オフ

電源ボタンを押すと電源がオンになります。

液晶モニターが点灯します。

再度電源ボタンを約1秒押すと電源がオフになり

液晶モニターが消灯します。



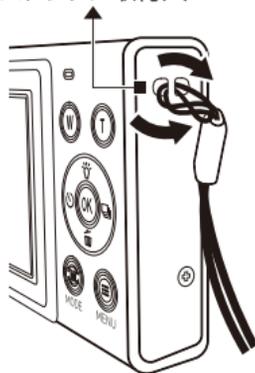
ストラップの取り付け

右の図を参考に、

ストラップ取付穴に付属のストラップを取り付けてください。



ストラップ取付穴





ご使用の前に

microSDHC/SDXCメモリーカード(別売)を使用する

(以下microSDメモリーカードと表記します)

本製品で撮影した画像は、microSDメモリーカードに記録されます。

microSDメモリーカード(別売)を電池室カバー内のmicroSDメモリーカードスロットにセットしてください。

動画・静止画撮影をすると自動的にmicroSDメモリーカードに記録されます。



図はmicroSDメモリーカードのイメージ図です。

- ◆ このカメラに使用できるmicroSDメモリーカードの仕様は、
microSDHCメモリーカード(スピードクラス6~10): 4~32GB(別売)
microSDXCメモリーカード(スピードクラス10またはUHSスピードクラス1以上):64GB(別売)
までです。その他の種類のカードを使用しますと、製品及びカードが故障する可能性があります。



ご使用前に

microSDメモリーカードを使用する前に



- ◆ 新しいmicroSDメモリーカードは使用前に本製品でフォーマット(初期化)してください。
- ◆ microSDメモリーカードをセットすると、カメラはmicroSDメモリーカードを認識します。
- ◆ この他にも、取り扱いに関する注意事項がP.7～10に記載されていますので、必ずよくお読みください。
 - パソコンに接続、データ転送中や、撮影/再生中にmicroSDメモリーカードを引き抜かない
パソコンにカメラを接続し、撮影したデータをパソコンに転送している最中や、撮影中または再生中にmicroSDメモリーカードをカメラから引き抜かないでください。撮影した画像データ、microSDメモリーカードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。
 - 本製品にはmicroSDメモリーカードをフォーマット(初期化)する機能がついています。
フォーマットは必ず本製品で行ってください。フォーマットすると既に記録されている画像データは全て消去されますのでご注意ください。
- ◆ 次ページの注意事項をよくお読みになり、正しい取り扱いを行ってください。



ご使用の前に

▶▶ ファイル名／ディレクトリ名を変更しない

パソコンでmicroSDメモリーカードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、カメラで記録された画像データ以外のファイルを書き込まないでください。カメラで認識できなくなり、機能に障害がでる恐れがあります。



- microSDメモリーカードは精密機器ですので、無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、microSDメモリーカードが静電気を帯びていると、うまく認識されなかったり、カメラの誤作動などの障害が起こる恐れがあります。
- microSDメモリーカードを使用中、誤作動や故障により記録内容が失われる事があります。記録されたデータの破損・消失につきましては、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- microSDメモリーカードに異常があると思われる場合は、フォーマットすることで正常に動作する場合があります。その際は、本製品のフォーマット機能をお試しください。（フォーマットすると、記録されている画像データは全て消失されますので、あらかじめご了承くださいの上、フォーマットを行ってください。必要に応じてデータをパソコンやCDにコピーしてからフォーマットしてください。）
- 電極部（金色の金属部分）が汚れてしまった場合は、乾いた清潔な布などで軽く拭き取ってください。



ご使用前に

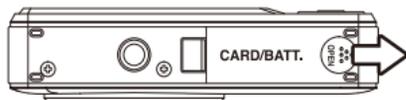
microSDメモリーカードを取り付ける

microSDメモリーカードはカメラ下面のmicroSDHC/SDXCメモリーカードスロットにセットします。

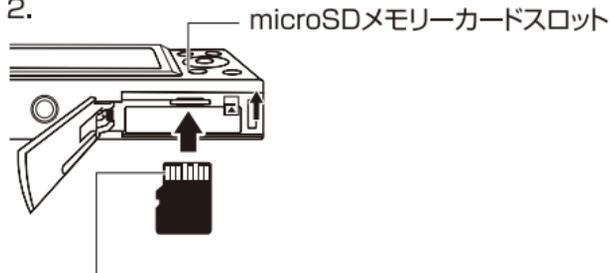
1. 電池室蓋を開けます。P.16「充電電池の取り付け」をご覧ください。
2. microSDメモリーカードの接触面が(液晶モニター側)になるようにして、microSDメモリーカードスロットにカチッと音がするまで押し込みます。
3. microSDメモリーカードを取り外す時は、micro SDメモリーカードがカチッと音がするまで軽く押し込みます。microSDメモリーカードが少し飛び出ます。

●次ページへ続く

1.



2.



取付時は、microSDメモリーカードの接触面が本機の背面側になるように挿入します。
取り外す時は、microSDメモリーカードがカチッと音がするまで軽く押し込みます。
microSDメモリーカードが少し飛び出ます。



ご使用の前に

●前ページより続き



- 新しいmicroSDメモリーカードを使用される際は、あらかじめmicroSDメモリーカードのフォーマット(P.26参照)をしてください。
- 撮影画像に付けられるファイル名(DSCFXXXX)は、microSDメモリーカード内の画像を消去しても、連続してカウントされます。番号をリセットする場合は、カメラでフォーマット(P.26参照)してください。



- ◆ 差し込みにくい時は、挿入方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。
- ◆ microSDメモリーカードをカメラ本体から着脱する場合は、必ずカメラの電源をオフにした状態で行ってください。
- ◆ すべてのmicroSDメモリーカードで動作を保証するものではありません。
- ◆ 他のカメラなどのファイルが保存されているmicroSDメモリーカードをセットすると、誤作動を起す場合があります。



ご使用前に

microSDメモリーカードのフォーマット

microSDメモリーカードをフォーマット(初期化)する機能です。

- ◆ microSDメモリーカードをこのカメラで使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
- ◆ フォーマットを行うとmicroSDメモリーカードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
- ◆ microSDメモリーカードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください。(パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません。)
- ◆ 保護設定を行ったファイルでも、フォーマットを実行すると消去されてしまいます。
- ◆ フォーマットする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。

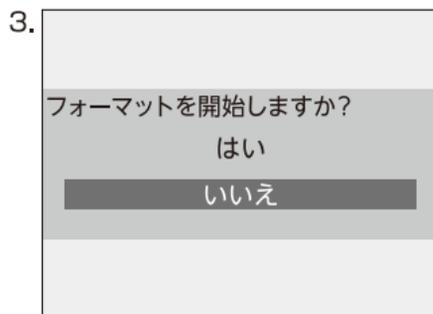
●次ページへ続く



ご使用の前に

●前ページより続き

1. カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタン(☰)を押します。
マルチ選択ボタン(以降は、マルチ選択ボタンを省略して上または下ボタン、右または左ボタンと記載)の右または左ボタンを押して、「フォーマット」を選択します。
3. 上または下ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
OK : microSDメモリーカードのフォーマットをします。
キャンセル: フォーマットしません。
4. 3項で「OK」を選択した場合、再度確認画面が表示されます。
はい : microSDメモリーカードのフォーマットをします。
いいえ: フォーマットしません。
5. OKボタンを押すと撮影モード画面に戻ります。



- ◆ フォーマットすると全てのデータが消去されますのでご注意ください。
プロテクト(保護)されたデータも消去されます。
- ◆ 消去されたデータ(画像など)は元に戻りませんのでご注意ください。



ご使用の前に

日時の設定

カメラをご使用の前に、日付表示と日時の設定を行います。

1. 電源をオンにします。
2. メニューボタン(☰)を押します。
3. 右または左ボタンを押して「日付/時刻」を選択します。
4. 上または下ボタンを押して

下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

- オン : 撮影時、および記録ファイルに日時が表示されます。
- オフ : 日時を表示しません。
- 日付/時刻設定 : 日時の設定を行います。

●次ページへ続く





ご使用前に

●前ページより続き

5. 4項で「日時」を選択し、日付/時刻設定の設定を行います。
右または左ボタンを押して設定する項目(例えば年→月)に移動します。
選択されている項目は黄文字表示されます。
6. 上または下ボタンで数値を調整します。
7. すべての数値の調整が終わりましたら、
OKボタンを押して決定します。
8. OKボタンを押すと撮影画面に戻ります。

5.

年	月	日
2024 ◆	12	24
時	分	秒
10	58	50



- ◆ 日付/時刻は静止画・動画共にファイルデータとして記録されますのでできるだけ正確に設定してください。



ご使用の前に

2. 言語の設定 (初期設定: 日本語)

カメラをご使用の前に、言語の設定を行います。

1. 電源をオンにします。
2. メニューボタン(☰)を押します。
3. 右または左ボタンを押して、「言語」を選択します。
4. 上または下ボタンを押して、使用する言語を選択し、OKボタンを押して決定します。
5. OKボタンを押すと撮影画面に戻ります。



- 11の言語に対応しています。
- リセットすると言語は日本語が表示されます。



静止画モード

静止画撮影モードの 液晶モニター表示



1	現在の撮影モード(静止画モード)を表示します。
2	連写 連写モードを選択していることを表示しています。P.36参照
3	内蔵LEDライト 内蔵LEDライトの設定を表示しています。P.34参照
4	05150 静止画記録可能枚数
5	ズームインジケーター ズーム領域を表示します。P.33参照
6	電池残容量 電池残量を表示します。P.18参照
7	メモリーカード挿入を表示しています。P.24参照
8	AWB ホワイトバランス 現在のホワイトバランスの設定を表示しています。P.44参照
9	スマイルショット スマイルショットの設定を表示しています。P.41参照
10	顔検出 顔検出の有効/無効を表示しています。P.40参照
11	効果 撮影する静止画に各種の効果を加えます。P.45参照
12	露出 現在の露出補正設定を表示しています。P.42参照
13	ISO 現在のISO感度を表示しています。P.43参照
14	手振れ軽減 手振れ軽減の有効/無効を表示しています。P.39参照
15	<small>2024/12/24 11:00:07</small> 年月日/時刻表示 年月日/時刻を表示します。P.28参照



静止画モード

静止画の撮影

静止画を撮影します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. モードボタンを押して「静止画モード 」にします。
3. 液晶モニターで被写体を捉えます。
必要に応じてズームを使用して構図を決めます。
4. カメラをしっかりと構えてシャッターボタンを半押しします。
オートフォーカス機能で液晶モニター中央の  アイコンが黄色から緑色に変わるとピントが合います。
5. シャッターボタンを完全に押し込んで撮影します。



- 被写体周辺の光量が不足している場合、手ぶれにご注意ください。
内蔵LEDライトまたは三脚などの使用をおすすめします。
- オートフォーカスは静止画のみの機能です。



静止画モード

ズーム撮影

本製品は最大8倍のデジタルズームが搭載されています。
ズームボタンのTボタンを押すと、ズームイン(拡大)します。
ズームボタンのWボタンを押すと、ズームアウト(縮小)します。



- ズームの倍率が大きくなると、撮影した画像の解像度は低下します。
- 液晶の仕様上、液晶で見える画像と実際撮影した画像に差が出る場合があります。



静止画モード

内蔵LEDライトの設定

内蔵LEDライトを設定します。

上ボタンを押すと内蔵LEDライトが点灯します。
再度、上ボタンを押すと内蔵LEDライトが消灯します。

上ボタン／内蔵LEDライト



内蔵LEDライト点灯アイコン



- 電源をオフにすると、内蔵LEDライトは消灯します。



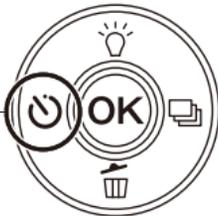
静止画モード

📷 セルフタイマー (初期設定: オフ)

セルフタイマーを設定します。

1. 左ボタンを押して、セルフタイマーモードに切り替えます。
ボタンを押すごとに設定が切り替わります。
2秒 : シャッターボタンを押してから約2秒後に撮影します。
5秒 : シャッターボタンを押してから約5秒後に撮影します。
10秒 : シャッターボタンを押してから約10秒後に撮影します。
オフ : セルフタイマーを設定しません。
2. シャッターを押すと液晶モニターに撮影までの秒数を
カウントダウン表示し撮影します。

左ボタン / セルフタイマー



セルフタイマーアイコン



- 電源をオフにすると、設定はオフに戻ります。
- 静止画のみの機能です。



静止画モード

連写モード (初期設定: オフ)

1枚撮影と連写撮影(約3秒間に3枚撮影)を設定します。

1. 右ボタンを押して下記のいずれかを選択します。

1枚: 1コマ撮影に設定します。

連写: 連写モードに設定します。

右ボタン/連写モード



連写モードアイコン



- 電源をオフにしても設定はリセットされません。
- 静止画のみの機能です。

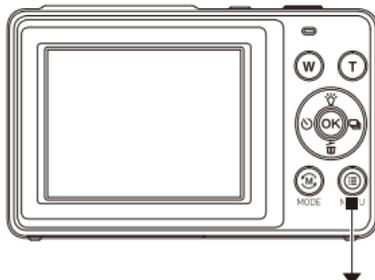


静止画モード

▶ 静止画撮影メニュー

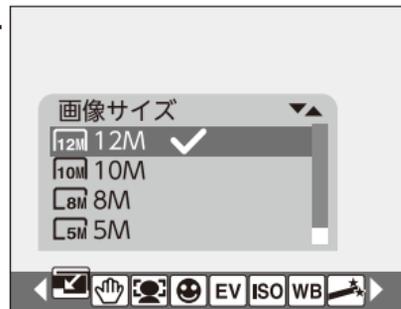
静止画撮影時の設定をします。

1. メニューボタン(☰)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して項目を選択します。
3. 上または下ボタンを押していずれかを選択し、OKボタンを押します。
4. 静止画撮影モードに戻ります。



メニューボタン

2.





静止画モード

▶▶ 画像サイズ (初期設定: 12M)

画像サイズを選択します。

1. メニューボタン(☰)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 右またはボタンを押して「画像サイズ」を選択します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

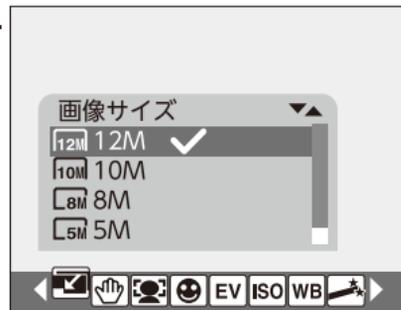
12M(補間) : (4000×3000)

10M(補間) : (3648×2736)

8M(補間) : (3264×2448)

5M : (2592×1944)

2.



- 補間とは、ある既知の数値データを基にして、既知データ間の値を埋めるものです。
- サイズが大きいほど高画質ですが、データ容量も大きくなり、撮影可能枚数が少なくなります。
- 静止画のみの機能です。



静止画モード

手ぶれ軽減 (初期設定: オン)

静止画撮影時の手ブレを軽減します。

1. メニューボタン(☰)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して「手ブレ軽減」を選択します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

オン：手ブレ軽減を有効にします。

オフ：手ブレ軽減を無効にします。

2.



- 静止画のみの機能です。



静止画モード

顔検出 (初期設定: オン)

顔を認識します。自動でシャッターはおりません。

1. メニューボタン(☰)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して「顔検出」を選択します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

オン： 顔検出を有効にします。

オフ： 顔検出を無効にします。

4. 液晶モニター中心以外に顔がある場合、顔が液晶モニター中心になるようにした状態でシャッターを半押しします。半押しした際に画面の枠が黄色から緑色に変わりましたらご希望の構図にしてシャッターを全押ししてください。

2.



- すべての条件で動作を保証するものではありません。
- 静止画のみの機能です。
- スマイルショットをオンにすると顔検出も連動してオンになります。
- 電源をオフにしても設定はリセットされません。



静止画モード

▶▶ スマイルショット (初期設定: オフ)

笑顔を認識すると、自動的にシャッターがおります。

1. メニューボタン(☰)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して「スマイルショット」を選択します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

オン：スマイルショットを有効にします。

オフ：スマイルショットを無効にします。

2.



- すべての条件で動作を保証するものではありません。
- 静止画のみの機能です。
- 電源をオフにしても設定はリセットされません。



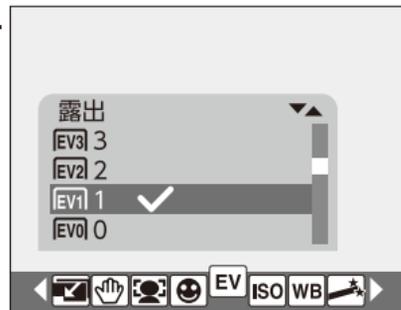
静止画モード

▶▶ 露出 (初期設定: オフ)

手動で露出値を変更する場合に使用します。
被写体の撮影結果が暗く潰れる場合は+(明るく)補正し、
明るすぎる場合には-(暗く)補正します。
露出値は、-3.0~+3.0(1EVステップ)の間で
調整することができます。

1. メニューボタン(☰)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して「露出」を選択します。
3. 上または下ボタンを押して補正値を選択し、
OKボタンを押します。

2.



- 電源をオフにしても設定はリセットされません。



静止画モード

ISO感度 (初期設定: オート)

撮影時の感度を設定します。

感度を上げると暗い場所での撮影も可能になりますが、ノイズが増え、画質が低下します。感度を下げると、ノイズが少なくなめらかな画質を得ることができますが、多くの光量が必要となります。

1. メニューボタン(☰)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して「ISO感度」を選択します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

ISO オート：自動で調整します。

ISO 100：屋外の晴天時での撮影に適しています。

ISO 200：屋外の曇天時、または明るい室内での撮影に適しています。

ISO 400：屋外の曇天時、または光量が少ない室内で内蔵LEDを発光して撮影する場合に適しています。

2.



- 上記説明はあくまでも目安です。撮影結果を確認しながら、実際の撮影状況に合わせて設定してください。
- 電源をオフにしても設定はリセットされません。



静止画モード

▶▶ ホワイトバランス (初期設定: オート)

様々な被写体周辺の状況に応じて
ホワイトバランスを調整し、希望の色調に近づけます。

1. メニューボタン(☰)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して「ホワイトバランス」を選択します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

オート：自動で調整します。

昼光：屋外の晴天時での撮影に適しています。

曇り：屋外の曇天時、日陰での撮影に適しています。

電球：室内の白熱灯下での撮影に適しています。

蛍光灯：室内の蛍光灯下での撮影に適しています。

2.



- 上記説明はあくまでも目安です。撮影結果を確認しながら、実際の撮影状況に合わせて設定してください。
- 電源をオフにしても設定はリセットされません。



静止画モード

効果 (初期設定: ノーマル)

撮影する静止画に効果を加えることで、印象の異なる写真にします。

1. メニューボタン(☰)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して「効果」を選択します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

- ノーマル : 効果を加えません。
- 白黒 : 白黒画像にします。
- セピア : セピア画像にします。
- レッド : 赤色フィルターのよう効果を加えます。
- グリーン : 緑色フィルターのよう効果を加えます。
- ブルー : 青色フィルターのよう効果を加えます。
- 夕日 : 夕焼けのよう効果を加えます。
- 暖色 : 温かみのある効果を加えます。
- 寒色 : 青みを帯びた効果を加えます。
- 露出オーバー : 露出をプラス補正した効果を加えます。
- IR : 赤外線撮影風の効果を加えます。
- バイナリ : 白黒2値での画像にします。
- ビビッド : 色彩を強調した画像にします。
- 低彩度 : 色彩を抑えた画像にします。
- トイカメラ : 白黒で四隅の暗い画像にします。
- ネガ : ネガフィルムのような画像にします。

2.





静止画モード

測光モード (初期設定: 多分割測光)

測光モードには下記の2つのモードにより
撮影の露出を調整することができます。

1. メニューボタン(☰)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して「測光モード」を選択します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

中央重点測光：画面の中央付近に特化して露出設定を行うモード

多分割測光：画面全体からバランスを考えた露出設定を行うモード

2.





静止画モード

省電力(初期設定:オフ)

カメラを操作しない時間が一定以上続くと、電力節約のため、カメラの電源が自動的にオフになります。

1. メニューボタン(⊕)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して「省電力」を選択します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

オフ :自動的にオフしません。

1分 :1分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。

2分 :2分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。

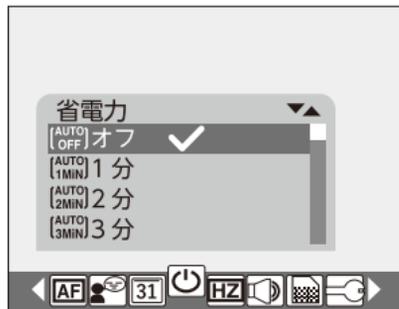
3分 :3分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。

4分 :4分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。

5分 :5分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。

10分 :10分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。

2.



- USB充電器を接続している時は本機能は無効化されます。



静止画モード

フリッカー低減(初期設定: 50Hz)

撮影地域によって、正しい電源周波数を選択し、
蛍光灯のチラツキを抑制します。

1. メニューボタン(☰)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して「フリッカー低減」を選択します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、
OKボタンを押して決定します。

50Hz: 主に東日本

60Hz: 主に西日本

2.



- 日本では50Hzと60Hzの交流電源が使われています。
静岡県の富士川から新潟県の糸魚川あたりを境に東側が50Hz、西側が60Hzです。



静止画モード

操作音 (初期設定: オン)

カメラの操作に関する操作音を設定します。

1. メニューボタン(☰)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して「操作音」を選択します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

オン: 操作音を有効にします。

オフ: 操作音を無効にします。





設定モード

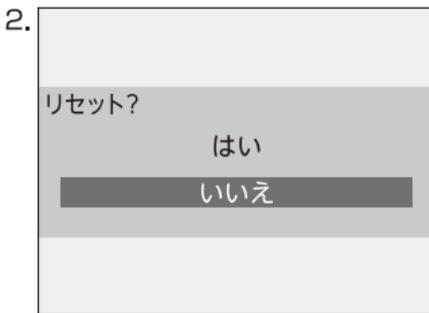
フォーマット

メモリーカードをフォーマット(初期化)する機能です。
P.26「microSDメモリーカードのフォーマット」をご覧ください。

リセット

カメラの設定を工場出荷の状態に戻します。

1. メニューボタン(☰)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して「リセット」を選択します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
はい : 初期設定に戻します。
いいえ : 初期設定に戻しません。

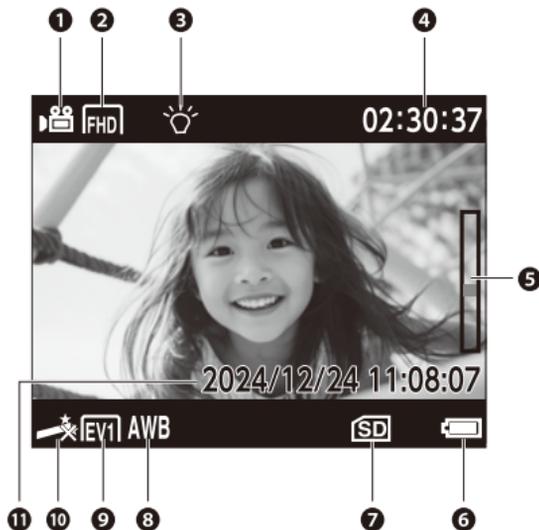


- リセットすると、カメラの言語表示が日本語に戻ります。



動画モード

▶ 動画撮影モードの 液晶モニター表示



1	現在の撮影モード(動画モード)を表示します。
2	ビデオサイズ 現在の動画サイズ設定を表示しています。P.55参照
3	内蔵LEDライト 内蔵LEDライトの設定を表示しています。P.34参照
4	02:30:37 動画撮影可能時間
5	ズームインジケーター ズーム領域を表示します。P.33参照
6	電池残容量 電池残量を表示します。P.18参照
7	メモリーカード挿入を表示しています。P.24参照
8	ホワイトバランス 現在のホワイトバランスの設定を表示しています。P.56参照
9	効果 撮影する動画に各種の効果を加えます。P.56参照
10	露出 現在の露出補正設定を表示しています。P.56参照
11	<small>2024/12/24 11:08:07</small> 年月日/時刻表示 年月日/時刻を表示します。P.28参照



動画モード

📽️ 動画の撮影

動画を撮影します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. モードボタンを押して「動画モード 」にします。
3. 液晶モニターで被写体を捉えます。
必要に応じてズームを使用して構図を決めます。
4. シャッターボタンを半押しして撮影を開始します。
5. シャッターボタンを半押しすると撮影を終了し、撮影画面に戻ります。



- メモリー残容量が無くなると、カメラは自動的に撮影を終了します。
- 動画撮影中は、省電力機能は作動しません。
- 1ファイルの最大容量は4GBです。容量を超えた場合は動画の撮影は終了せず、新しいファイルが作成され保存されます。



動画モード

▶ ズーム撮影

P.33「ズーム撮影」(静止画モード)をご覧ください。

▶ 内蔵LEDライト撮影

P.34「内蔵LEDの設定」(静止画モード)をご覧ください。

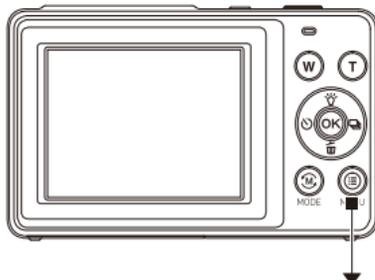


動画モード

▶ 動画撮影メニュー

動画撮影時の設定をします。

1. メニューボタン (Ⓜ) を押し、撮影メニューを表示します。
2. 右またはボタンを押して項目を選択します。
3. 上または下ボタンを押していずれかを選択し、OKボタンを押します。
4. 動画撮影モードに戻ります。



メニューボタン

2.





動画モード

▶▶ ビデオサイズ(初期設定: 1080P)

撮影する動画サイズを設定します。

1. メニューボタン(☰)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して「ビデオサイズ」を選択します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

FHD 1080P :1920×1080(補間)

HD 720P :1280×720

2.



- サイズが大きいほど高画質ですが、データ容量も大きくなり、撮影時間が少なくなります。
- フレームレートはすべて30fpsです。



動画モード

▶▶ 露出(初期設定:オフ)

P.42「露出」(静止画モード)をご覧ください。

▶▶ ホワイトバランス(初期設定:オート)

P.44「ホワイトバランス」(静止画モード)をご覧ください。

▶▶ 効果(初期設定:ノーマル)

P.45「効果」(静止画モード)をご覧ください。

▶▶ 省電力(初期設定:オフ)

P.47「省電力」(静止画モード)をご覧ください。

▶▶ フリッカー低減(初期設定:50Hz)

P.48「フリッカー低減」(静止画モード)をご覧ください。

▶▶ 操作音(初期設定:オン)

P.49「操作音」(静止画モード)をご覧ください。

▶▶ フォーマット

P.26「microSDメモリーカードのフォーマット」をご覧ください。

▶▶ リセット

P.50「リセット」(静止画モード)をご覧ください。



再生モード

再生モードのファイル再生

モードボタン (M) を押して「再生モード」にします。
最後に撮影されたファイルが液晶モニターに表示されます。
液晶モニター左上に、静止画ファイルは (静止画再生アイコン) アイコン、
動画ファイルは (動画再生アイコン) アイコンが表示されます。
右または左ボタンを押して再生するファイルを選択します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. モードボタン (M) を押して「再生モード」にします。
3. 右または左ボタンを押して、再生したいファイルを選択します。

静止画ファイルアイコン



動画ファイルアイコン





再生モード

▶ 静止画再生モードの液晶モニター表示



- | | | |
|---|---|-----------------------------|
| ① |  | 現在の再生モード(静止画)を表示します。 |
| ② |  | 静止画サイズ 撮影された静止画サイズを表示しています。 |
| ③ | 100-001 | フォルダ番号-ファイル番号 |
| ④ |  | 電池残容量 電池残量を表示します。 |



再生モード

再生ズーム

静止画ファイルの表示中、画像を拡大表示することができます。

1. 静止画ファイルを表示します。
2. Tボタン押すと拡大表示、
Wボタンを押すと縮小表示。
液晶モニター左下に上/下/左/右アイコン◀▶が
表示されます。
3. 上/下または左/右ボタンを押して、
拡大表示範囲を移動します。
4. モードボタンⓂを押すと、通常表示に戻ります。



上/下/左/右アイコン



● 静止画ファイルのみの機能です。



再生モード

サムネイル表示

9分割のサムネイル表示に切り替えます。
ファイルを素早く探すことができ、大変便利な機能です。

1. 静止画／動画ファイルを表示します。
2. Wボタンを押すと9分割のサムネイル表示に切り替わります。
3. 上／下または右／左ボタンを押して、
ファイルの選択(赤枠)を移動します。
4. OKボタンを押すと、
選択したファイルが全画面表示になります。



- 静止画には「JPG」、動画には「AVI」と表示されます。



再生モード

▶▶ クイック消去

記録したファイルを消去します。

1. 消去したいファイルを表示します。
2. 下ボタンを押します。
下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
3. はい : 表示中のファイルを消去します。
いいえ : 表示中のファイルを消去しません。
4. OKボタンを押すと静止画再生表示に戻ります。



下ボタン／クイック消去

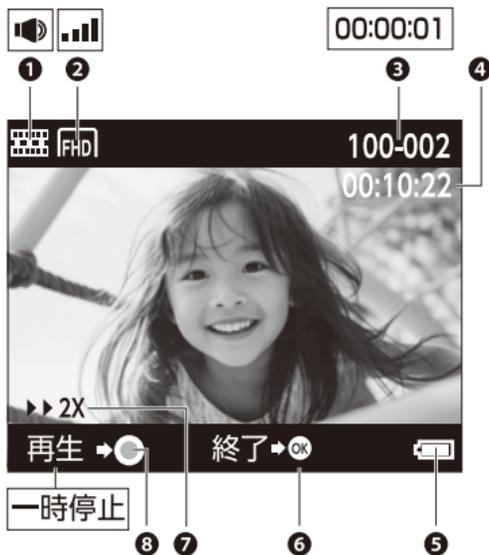


- 消去したファイルは元に戻せませんのでご注意ください。



再生モード

▶ 動画再生モードの液晶モニター表示



1	現在の再生モード(動画)を表示します。
2	スピーカーアイコン表示
2	動画サイズ 撮影された動画サイズを表示しています。
	音量表示
3	100-002 フォルダ番号-ファイル番号 00:00:01 動画再生時間
4	00:10:22 動画ファイルの長さ
5	電池残容量 電池残量を表示します。
6	再生中にOKボタンを押すと再生を停止し、ファイルの先頭部分に戻ります。
7	2X 早送り・早戻し
8	シャッターボタンを押すと動画再生/一時停止します。



再生モード

▶ 動画ファイルの再生

動画ファイルを液晶モニターで再生します。

1. 動画ファイルを表示します。
2. シャッターボタンを押すと再生を開始します。
3. Tボタン  を押すと、音声が大きくなります。
Wボタン  を押すと、音声が小さくなります。
4. 再生中、シャッターボタンを押すと一時停止します。
再度、シャッターボタンを押すと再生開始します。
5. 再生中、右ボタンを一度押すと2倍速早送り再生し、
二度押すと4倍速早送り再生します。
左ボタンを一度押すと2倍速早戻し再生し、
二度押すと4倍速早戻し再生します。
6. OKボタンを押すと再生を停止し、ファイルの先頭部分に戻ります。



- 一時停止中・早送り／早戻し中は、消音します。
- FHD 1080Pの場合:早送り/早戻しの最大倍速は2倍です。



動画再生中

▶▶ クイック消去

P.61「クイック消去」をご覧ください。

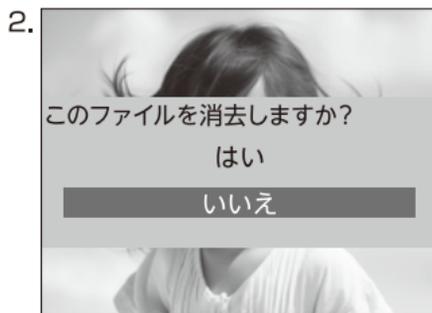


再生モード

消去

記録したファイルを消去します。

1. モードボタン (M) を押して「再生モード」にします。
最後に撮影されたファイルが液晶モニターに表示されます。
2. 表示されたファイルを消去する場合は下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
はい : ファイルを消去します。
いいえ : ファイルは消去されず、再生モードに戻ります。
3. 全てのファイルを消去する場合は再生モードでメニューボタン (≡) を押し、「消去」から「全て」を選択し、OKボタンを押します。
全てのファイルが消去されます。



- 消去したファイルは元に戻せませんのでご注意ください。



パソコンとの接続

▶ パソコンとの接続

カメラとパソコンを接続します。

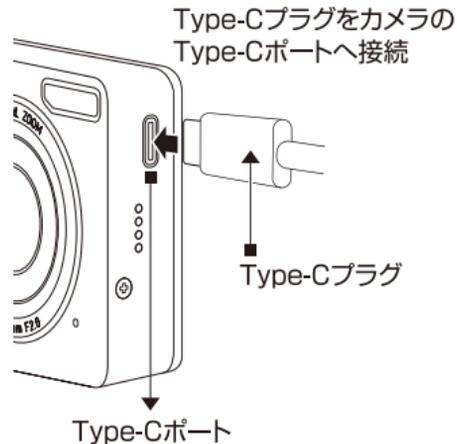
1. カメラの電源をオンにします。

付属USBケーブルのUSBプラグ(大きい方)をパソコンに接続し、Type-Cプラグ(小さい方)をカメラに接続します。

▶▶ モード設定

パソコンと接続するとMSDCとして認識されます。

●次ページに続く





パソコンとの接続

●前ページより続き

▶▶ MSDC

パソコンと接続し、カメラの記録ファイルをパソコンで確認したりパソコンに取り込むためのものです。

1. カメラの液晶モニターにUSB接続のアイコンが表示されます。
〈Windowsで使用する場合〉
 - PCに「リムーバブルディスク」として認識されます。
2. Windowsの場合、記録ファイルは、「PC」→「USBドライブ」→「DCIM」→「100JLCAM」などにあります。
3. 終了する場合は、各OSに適した方法で安全に付属のUSBケーブルを外してください。

▶▶ データの保存

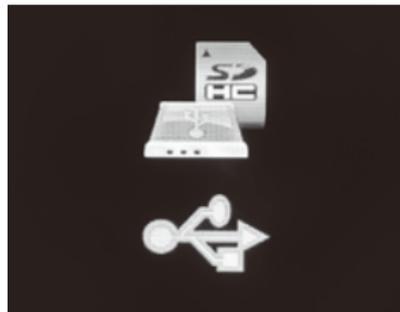
〈Windowsで使用する場合〉

本製品をパソコンのUSBポートに接続すると、マイコンピュータに「リムーバブルディスク」として認識されますのでカメラのデータをパソコンに取り込むことができます。



- お使いのパソコンのOS・バージョン等により表示は異なります。
- リムーバブルディスクはUSBドライブと表示されることもあります。

1.



パソコン接続中の液晶画面表示



パソコンとの接続

▶▶ 転送時のご注意

画像をパソコンに取り込む際には、以下の注意事項を必ず守ってください。



- ◆ [リムーバブルディスク]からコピーしている際(画像取り込み時)は、USBケーブル、メモリーカードを絶対に抜かないでください。メモリーカードが破損する恐れがあります。
- ◆ [リムーバブルディスク]内にあるフォルダ及びファイルの名前を変更しないでください。
- ◆ [リムーバブルディスク]内にパソコンからデータなどをコピーしないでください。カメラの動作が不安定になる原因になります。
- ◆ [リムーバブルディスク]をパソコンでフォーマットしないでください。
- ◆ [DCIM]フォルダ内にあるファイルデータは、カメラ内に保存されているファイルデータを表示しています。このフォルダにあるデータを消去してしまうと、カメラ内の画像が消去されてしまいますのでご注意ください。

▶▶ ファイル名について

ファイル名は「DSCF」で始まり、連番の4桁の数字が後に付きます。新しいフォルダのファイル番号は0001から始まります。ファイル番号が999を越える場合、新しいフォルダが作成されます。



- ◆ パソコン上でメモリーカード内のフォルダ名及びファイル名を変更しないでください。カメラでファイルを再生できない可能性があります。



パソコンとの接続

▶ PC Camera

パソコンと接続してWEBカメラとしても使用できます。
はじめにデータ保護のため、
microSDメモリーカードを取り外してください。

※例:Windows 10の場合

1. カメラとPCを付属USBケーブルで接続します。
シャッターボタンを押しながら電源ボタンを押します。
電源が入るとPC Cameraとして起動します。
液晶モニターが右図のようになります。
2. Windowsのスタートボタンをクリックし、
「カメラ」アプリを起動します。
アプリ画面右上のカメラの変更アイコン(丸枠内)で
「USB CAMERA」に切り替えます。
3. 「カメラ」アプリ上に本機の画像が表示されます。
4. WEBカメラを終了するには
そのままUSBケーブルを外します。
同時にカメラの電源はオフになります。



パソコン接続中の液晶画面表示





故障かな?と思ったら

[症状] 電源が入らない

[原因] 充電電池の取り付け方向が間違っている可能性があります。

[対策] 充電電池の ⊕ ⊖ を確認し、正しい方向でセットしてください。(P.16参照)

[原因] 電池残量が不足している可能性があります。

[対策] 充電電池を充電してください。(P.17参照)

[症状] 電池またはカメラが熱を持っている

[原因] カメラの連続使用または内蔵LEDライトによるもので異常ではありません。

[症状] 電源を入れるとすぐ切れる

[原因] 電池残量が不足している可能性があります。

[対策] 充電電池を充電してください。(P.17参照)

[症状] シャッターボタンを押しても写真が撮れない。

[原因] シャッターボタンが完全に押されていない可能性があります。

[対策] シャッターボタンを完全に押し込んでください。

[原因] microSDメモリーカードの容量がいっぱいになっている可能性があります。

[対策] 新しいmicroSDメモリーカードを使用するか、不要なファイルを消去してください。(P.61、P.64参照)



故障かな?と思ったら

[症状] シャッターボタンを押しても写真が撮れない。

[原因] microSDメモリーカードが正しくフォーマットされていない可能性があります。

[対策] フォーマットできない場合、microSDメモリーカードを交換してください。

[症状] ピントが合わない

[原因] レンズが汚れている可能性があります。

[対策] レンズペーパーか柔らかく乾いた布でレンズを拭いてください。

[症状] ファイルをダウンロードできない

[原因] お使いのパソコンのハードディスクの空き容量が不足している可能性があります。

[対策] パソコンのハードディスクの空き容量をご確認ください。

[原因] カメラの電源が入っていない可能性があります。

[対策] カメラの電源を入れてください。



記録可能枚数／時間の目安

▶ 静止画

microSDXCメモリーカード64GB UHSスピードクラス1の場合	
静止画サイズ	枚数
12M(補間)	約 20,000
10M(補間)	約 24,000
8M(補間)	約 31,000
5M	約 49,000



記録可能枚数／時間の目安

▶ 動画

microSDXCメモリーカード64GB UHSスピードクラス1の場合	
動画サイズ	撮影時間
1080P	約 310 分
720P	約 430 分



- 撮影の状況・被写体によって記録されるファイルサイズが一定ではないため、記録可能枚数／時間に差がでます。静止画・動画ともに目安としてご参考ください。
- 記録可能枚数／時間に達する前に電池がなくなる場合がございます。



仕様

仕様

イメージセンサー	1/4型 CMOS
総画素数	513万画素
有効画素数	約500万画素
レンズ	f=3.54mm F2.0
焦点距離 (35mmフィルム換算)	33.8mm
ズーム	デジタル8倍
撮影距離	静止画:約0.2m~∞ 動画:約1.5m~∞
液晶モニター	2.4型 IPS
外部メモリー※1	microSDHCメモリーカード (スピードクラス6~10):4~32GB(別売) microSDXCメモリーカード (スピードクラス10またはUHSスピードクラス1以上):64GB(別売)
ファイル形式	静止画:JPG 動画:MJPEG(AVI)
静止画サイズ	12M(補間)、10M(補間)、8M(補間)、5M
動画サイズ	1920×1080 30fps(補間)、1280×720 30fps



仕様

シャッタースピード	1/2500秒～1/10秒
ISO感度	オート、100、200、400
セルフタイマー	オフ、2秒、5秒、10秒
内蔵ライト	LED
露出補正	±3EV 1EVステップ
ホワイトバランス	オート、昼光、曇り、電球、蛍光灯
手振れ軽減機能	電子式
電源	リチウムイオン充電電池 NP-6L
入出力ポート	USB2.0
DPOFプリント	非該当
ダイレクトプリント	非該当
寸法	約94×58×23mm
重量	約101g(付属品、充電電池を含まず) 約116g(充電電池、メモリーカードを含む参考値)

※1. すべてのmicroSDHC／SDXCメモリーカードで動作を保証するものではありません。
推奨するSDカードは弊社ホームページを参照してください。

※2. USB充電器は、別売：Type-A出力、1ポートDC5V 2A以下のものを使用してください。

セット内容：カメラ本体、リチウムイオン充電電池、ストラップ、USBケーブル(Type-A to Type-C)、取扱説明書



パソコンとの接続

必要パソコン動作環境

カメラとパソコンをUSB接続にて使用する場合、以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

- 下記OSがプリインストールされたパソコン

Windows
Windows 10(32/64bit)～11

動作保証について

- 動作環境は最低限の条件を満たした仕様です。ご使用のOSに対応した動作環境が必要になります。
- 動作環境を満たすパソコンの中でも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 各OSからアップグレードしたパソコンでは動作保証致しません。
- USBハブや拡張USBポートに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証いたしません。
- microSDHC / SDXCメモリーカードによっては使用できないものがあります。
- 記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。
- 仕様や外観は製品改良等のため予告なく変更をする場合もありますのでご了承ください。



保証規定 保証期間：お買い上げ日より1年

- (1)修理の際は必ずお買い上げ店舗のレシートを添付のうえ、ご購入店またはケンコー・トキナーお客様相談室までお申し付けください。
- (2)お買い上げ店舗のレシートの添付なき場合は有料修理となります。
- (3)正常な取り扱い中に故障を生じた場合以外は有料修理となります。
(下記①～⑧など)
①取扱いの乱用、使用法の誤りによる故障 ②保存上の不備のため湿度などによって生じた故障 ③火災や浸水・天災によって生じた故障 ④当社以外の場所にての修理・改造・分解による故障 ⑤その他類似的起因による故障
⑥消耗品(LED・充電電池等)のお取り替え ⑦落下、衝撃、砂、泥かぶり、冠水・浸水などによる故障 ⑧個人売買およびオークションなどでご購入の場合
- (4)ご購入年月日・ご購入店名のなきものは無効です。
- (5)レシートは大切に保管してください。
- (6)修理品に送料、交通費等が掛った場合はお客様にてご負担願います。
- (7)当社製品を使用して付随製品が故障した際の保証は致しません。
- (8)出張による点検・修理・取扱説明・設定等には無償・有償を問わず対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。
- (9)本保証は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- (10)本保証は保証規定により無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 【お願い】
修理に関しましては修理箇所、内容を明確にご指示ください。

■個人情報について

※本保証を通じてお客様からご提供いただいた個人情報を、修理完了後、速やかに廃棄いたします。

※ご協力いただきました記入事項につきましては、ご提供いただきました個人情報のうち、年齢・性別等個人を識別、あるいは特定できない情報と関連付け、統計的データに加工して利用する場合があります。

※当社は、お客様の個人情報を第三者へ開示いたしません。但し、以下の場合を除きます。

- お客様の承諾を得た場合。
- お客様の明示した利用目的の達成に必要な範囲内において、業務委託先に個人情報を開示する場合。但し、この場合に当社は、法令上、個人情報の安全管理が図れるよう、当該業務委託先に対して必要かつ適切な監督義務を負います。

発売元：株式会社 **ケンコー・トキナー**

〒164-8616 東京都中野区中野5-68-10 KT中野ビル

ケンコー・トキナーホームページ <https://www.kenko-tokina.co.jp/>



製品について詳しくはコチラ

製品に関するお問い合わせ



お客様お問合せフォームはこちらのQRコードから。
パソコンからは、
「ケンコー・トキナーお問い合わせ」で検索。

ケンコー・トキナーお客様相談室



0120-775-818

携帯・IP電話からは

03-6840-3389 ※通話料金がかかります。

受付時間：月～金 9:15～17:30(土、日、祝日、年末年始等を除く)

お願い 本機の廃棄方法は、お住まいの市町村の方法に従ってください。



メモ

